

# 化学肥料低減計画書

## 作付概要

作物名	作付面積 (ha)
その他	
計	

秋用肥料 R4. 6月～10月	春用肥料 R4. 11月～R5. 5月

※秋用・春用いずれかに○をつける

氏名 (法人・組織名)

住 所

電話番号

## 取組メニュー

- (1) 実施する (してきた) 取組メニューに「○」を付けてください。
- (2) 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大 (「◎」で記入) を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用 (下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用 (エとオ以外)		
キ 有機質肥料 (指定混合肥料等を含む) の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料 (単肥配合を含む) の利用		
サ 可変施肥機の利用 (ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥 (側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等) の利用		
ス 育苗箱 (ポット苗) 施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し (ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特認技術の利用 ( )		

私は、添付した領収書 (請求書) 等記載の肥料 (肥料費) について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名 (自署)

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類 (注文票等) と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類 (領収書等) または支払い義務が生じていることを示す書類 (請求書等) を提出すること。  
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。